



ナゴヤ子ども応援大綱

～ 日本で1番子どもを応援するマチ ナゴヤ ～



「教育」を「Education」へ！

「教」の字の「攴」にはムチの意味が入っているといわれている。子どもを型にはめるのではなく、「Education（e＝外へ、duce＝引っばること。）」の精神のもとで、「教え込む」授業ではなく、「子どもが考え、自ら学ぶ」授業を推し進め、子どもたちに内在する生きる力を引き出し、人生を応援します。



「なごやっ子」の育ちと針路を応援する仕組みを確立！

常勤のスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、スクールアドバイザーとスクールボリス（現在は非常勤）からなる4職種のチームで子どもを応援する日本初の仕組み「なごや子ども応援委員会」を確立して、悩みを解決し、目の前の進路にとどまらない「大きくなったら何になるの？」という将来の針路を応援します。

また、貧困問題に起因して深刻化する子どもの問題に正面から全庁的に取り組みます。



歴史や文化を大切に作る心を育み、世界にはばたく力を育成！

日本・ナゴヤの歴史や文化の魅力に誇りを持ち、自らのアイデンティティを形づくる地域や家族などを大切にし、自分の考えを持ち人前で堂々と話せる、グローバル社会で活躍できる人材を育成します。



名古屋市教育振興基本計画の重点的取組事項を力強く推進！

「グローバル人材育成教育の推進」、「子ども・教育に関する総合的な相談施設の整備」、「歴史の里の整備」など重点施策の着実な推進を図り、特に「学校トイレさわやか改修」については、力強く進めます。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3第1項に規定する大綱として、上記のとおり定める。

平成27年5月24日

名古屋市長

河村たかし

